

第2次千葉県食育推進計画 指標項目及び目標値(案)

No	指標項目	策定時 基本値 (H23)	策定時 目標値 (H28)	出典	目標値の設定根拠		
1	朝食を欠食する県民の割合の減少 (小学5年生)	2.0%	0%を 目指す	④	減少傾向にあるので、さらに0%に近づける。 (国の目標値も0%を目指すとなっている。)		
2	—同一— (中学2年生)	4.4%	0%を 目指す	④			
3	—同一— (15～19歳:男性)	10.7%	0%を 目指す	②	一次計画で目標を達成出来なかったため、目標値はそのまま継続とした。 (※現在見直し中の健康増進計画と整合性を図り、目標値を設定する。)		
4	—同一— (15～19歳:女性)	17.2%					
5	—同一— (20歳代:男性)	41.0%	15%以下				
6	—同一— (20歳代:女性)	22.2%					
7	—同一— (30歳代:男性)	37.5%					
8	—同一— (30歳代:女性)	27.5%					
9	「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」等の何かを参考にして食生活を送っている県民の割合の増加	30.7% (H22)	60%以上			①	1次計画の目標値を達成できなかったため、継続して目標値を設定する。特に「ちば型食生活食事実践ガイドブック」の活用を重視する。
10	自分の食生活に問題があると思う県民のうち、改善意欲のある県民の割合の増加	成人男性 76.1% 成人女性 84.2%	成人男性 85%以上 成人女性 87%以上			③	一次計画で目標を達成出来なかったため、継続して目標値を設定する。 (県健康増進計画と整合性を図る。)
11	成人の1日当たりの野菜平均摂取量の増加	276.3g	350g以上	②	一次計画で目標を達成出来なかったため、継続して目標値を設定する。 (県健康増進計画と整合性を図る。)		
12	外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする県民の割合の増加	成人男性 36.3% 成人女性 63.5%	成人男性 60%以上 成人女性 70%以上	③	男性は、一次計画で目標が達成できなかったため、目標値はそのまま継続とした。 女性は、目標が達成されたためさらに高い「70%」を目標値とした。		
13	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている県民の割合の増加	56.5%	70%以上	①	1次計画の目標値を達成出来なかったため、継続して目標値を設定する。		
14	「千葉県産農産物」を購入したいと思う県民の割合の増加 (⇒「千葉県産農林水産物」を購入したいと思う県民の割合の増加)	81.5%	増加	①	1次計画の「県産農産物」の幅を広げ、「県産農林水産物」として指標を設定する。現状値を県政に関する世論調査(H25年度実施)で調査し、目標値を設定する。		
15	観光農林漁業入込数 (⇒直近1年以内に農林漁業体験に参加したことがある県民の割合の増加)	480万人 (H22)	増加	①	1次計画では、「観光農林漁業入込数」を設定したが、さらに県民の活動・行動への意識を調査するため、「農林漁業体験に参加したことがある県民の割合」として指標を設定する。現状値を県政に関する世論調査(H24年度実施)で調査し、目標値を設定する。		
16	郷土料理や伝統食について「知っている」「食べたことがある」県民の割合の増加 (⇒郷土料理や伝統食などを家庭でつくることがある県民の割合の増加)	82.5% (H22)	増加	①	1次計画では、「知っているものがある」、「食べたことがある」としたが、さらに県民の活動・行動への意識を調査するため、「家庭でつくることがある県民の割合」として指標を設定する。現状値を県政に関する世論調査(H24年度実施)で調査し、目標値を設定する。		

出典 ①県政に関する世論調査 ③千葉県生活習慣に関するアンケート調査
②千葉県県民健康・栄養調査 ④学校給食実施状況調査

参考 ※No.14 「千葉県産農産物」を購入したいと思う県民の割合の増加 81.5%(H23) 1次計画目標値:80%
※No.15 観光農林漁業入込数 480万人(H22) 1次計画目標値:400万人
※No.16 郷土料理や伝統食について「知っている」「食べたことがある」県民の割合の増加 82.5%(H22) 1次計画目標値:80%以上